

仲間とともに

～果敢に挑み輝く未来へ恩義を繋げよう～

題字 理事長 永島太地



安来市民の皆様へ

新年おめでとうございます。

私は二〇二六年度一般社団法人安来青年会議所
第六十代理事長の職をお預かりさせていただきま
す永島太地と申します。

一般社団法人安来青年会議所の
運動に対しまして格別のご高配を
賜り誠にありがとうございます。
本年度も変わりますね、ご理解と
ご支援賜りますようよろしくお願い
いたします。

二〇二六年度 基本方針

一、過去から学び次代へ恩義を

繋げる挑戦の六十年

二、まちの仲間と協同し

活気を創出するまちづくり

三、住み暮らすまちへの愛着を

紡ぎ育む青少年育成

年

はじめに

新たな幸せを掴み
取っていくために、人
は成長しようとするの
ではないでしょうか。
二十歳から四十歳の経
済人で運営される青年
会議所は、様々な業種
や環境から集まった青
年が自分自身に足りな
いものを追い求め、青
年として成長する過程
で得た経験を家族や会
社、住み暮らすまちへ
還元し、今よりも明る
い未来を目指してまち
づくり運動を展開して
います。

入会当初はその様な
特別な想いもなく、仕
事の人脈作りと話すこ
とが苦手な面を直した
いくらいの気持ちで入
会しました。私にとつ
ての転機は入会直後に
安来青年会議所の創立
五十五周年に立ち会え
たことです。当時はコ

ロナ禍で接触制限がある中、参加者
に最大限の感謝を伝え喜んでいただ
ける機会となるよう、メンバーが知
恵を絞り真剣に取り組む姿がありま
した。悩みながらも笑顔で活発に意
見を出し合い物事を進めて行くメン
バーの行動に感化され、自分もやら
なければと想ったきっかけが今の行
動原理に繋がっています。

入会から経験を重ね、物事に熱量
を持って真剣に取り組む姿にこそ、
人は共感するのだと信じるようにな
りました。その信条を基に、まちの
問題解決に向けて失敗を恐れず果敢
に挑戦していくことで協同する仲間

を増やし、その仲間と共にまちを新たな幸せに導いていく決意を込めて、スローガンを『仲間とともに、果敢に挑み輝く未来へ恩義を繋げよう』とさせていただきました。創始よりまちの人々に支えられながら育んできた恩に對して、我々は義の心をもってまちづくり運動を展開していき、まちが更に明るく活氣溢れる未来へと繋げていきます。

次代へと繋げる創立六十周年

安来青年会議所は一九六六年の創立以来六十年、このまちがより良い地域となるようまちづくり運動に邁進してまいりました。我々が今もまちづくり運動を続けられるのは時代とともに変化する問題へ果敢に挑み、より良い安来の実現を目指して歴史を紡いでこられた先人の想いや事業の結晶であり、先輩諸兄姉に尊敬の念を抱きます。

今後、次代へと繋がる運動を展開していくためには、先人達の歴史を紐解くことで新たな価値観を見いだしていくと考えます。それは六十年もの歲月の中で、時代毎にまちの問題を解決しようとする挑戦を続けた、先人達の想いが詰まったまちづくり運動に触れることができるからです。過去の事業を改めて知る機会を設けることで、今のままでは思い付かない問題解決への糸口が見つかり、より多角的な視点で運動を展開していくことができます。

そして六十年の歴史の中で関わった全ての方々から頂いた恩へ、我々は感謝の気持ちを抱き恩義に報いていかなければなりません。五十五周年に掲げた中期ビジョンでは関係諸団体との連携を明確にすることで、この五年間で関係性がより強固になったと感じます。この築き上げてきた関係性を絶やすことなく、今後のまちづくり運動へパートナーシップの輪を更に広げて仲間と協同していくことで、より波及力

の高い事業が展開できます。まちづくり運動で得た恩を感じるだけでなく、より良い安来となるようまちへ還元し、次代の輝く未来へと繋げていく今後のビジョンを策定し運動方針の指針にしてまいります。

活氣を創出するまちづくり

子ども時代の月の輪祭りでは、道行く人々とすれ違えないほどの盛り上がりを見せていました。祭りを通して多くの人々が一同に介することによって、進路が変わっても久しぶりに会う同級生や部活などを通じて育てていただいた保護者と近況を話す機会があり、個人にとつてまちとの繋がりを改めて認識する重要な場であったと感じています。

安来市はこの二十年余りで人口は25%程度減少しまちの活氣も少なくなつたように感じます。しかしながら、青年会議所運動で交流を深めた方々の中に、熱い想いをもってこの活氣の減少に立ち向かう人に出会うことができました。私の考える輝く未来とは、人々が笑顔で活発に交流し活氣溢れる未来まちのことです。この活氣溢れる未来へ繋げるためには、それぞれが試行錯誤しながら進めてきた取り組みを集約して新たな賑わいを創出し、まちの魅力として人々の繋がりの大切さを再認識できる場としていくことが必要だと考えます。

そして、その賑わいが単発で終わることなくまちの活氣溢れる場として続いていくよう、まちを取り巻く人々から共感を得られる事業を構築し、仲間を増やして協同していくことで連携を深めていきます。まちの声を集め、互いの経験を共有して相乗効果を生み出すことで、時代に合わせてカタチを変えながらも続いていく事業を展開します。そのためにも我々は、人々にとつて

まちとの繋がりが感じられるような活氣を創出する賑わいの仕組み創りを目指し、まちの幸せな未来へ導いてまいります。

愛着を紡ぎ育む青少年育成

子ども時代、父が青年会議所に所属していた影響からまちで行われる多くの心躍る楽しい催しに参加し、小学校から高校まで野球に打ち込み毎週訪れる練習試合に明け暮れていました。私が物事に熱中し「やりたいこと」に挑戦できていたのは、子ども達が全力を出し切れるよう大人達がいつも傍で支えてくれていたからです。当時の大人が子ども達へ愛情を注ぎ、未来のまちの担い手として期待をしていたのが今では理解できます。

しかし、青年会議所運動の中で子ども達からまちに對し愛着を育むような機会が少なかつたと話をされたことがあります。この話を聞いた時、まちに住む大人として子ども時代に与えられていた機会が提供できていない事実に悔しさを感じた一方、子ども達と接する中でまちへの熱い希望をもつ子が多いことを知りました。我々大人達は、その熱意が失われないうち子どもがまちに深く興味をもつような機会を提供する必要があります。

子ども達は日常では経験できない体験を五感で感じることで大人の想像を超える発想を養っていきけるまちの宝です。経験を共にする同世代との繋がりはその後のまちの未来を輝かせる仲間を育んでいきます。我々同様に子ども達も新たなチャレンジから成長を感じること、次の世代へ自分達が与えられた以上の機会を紡いでいきたいと思うのではありませんか。その経験がまちへの愛着に繋がると、次の世代にも想いを紡ぐ未来の担い手に成長していきけるよう、我々は子ども達に感性豊かな発想を育む事業を展開してまいります。

むすびに

物事に一生懸命挑戦する姿をみて、手を差し伸べてくれる人々が周りに増えていきます。

この周りに増えていく人々こそ仲間であり、新たな試みを進めて行く際に遭遇する多くの苦難に一緒に立ち向かってくれる存在です。時代とともに変化するまちの問題を乗り越えるためには、多くの仲間と共に考え意見を出し合う中で自分では想像もつかなかったような発想が生まれ問題の解決へと導いてくれます。その過程で新たな刺激を受けることにより人は成長し、成長を還元することで周囲の人々を幸せにしていくことができると信じています。

青年会議所の行動指針である修練・奉仕・友情の三信条は、正に個々人が物事に真剣に打ち込む中で実行と反省を繰り返して研鑽を積み、奉仕の心をもってまちのために一生懸命運動を展開する過程にこそ共感が得られて友情が芽生え、まちに仲間が増えていくことを指針としています。

ときに、まちづくり運動に真剣に向き合う気持ちで前面に出すぎて周りを顧みずに没頭してしまうことがあります。しかし、家族や仕事を顧みない運動は個人が疲弊し周りからの共感を得られません。我々の目指す運動は、各々が自分の役割を認識して行動すること、周囲と信頼を築き、仲間と協同して物事を進めていく。この三信条をメンバー全員が同じ想いをもつことで想い描く輝く未来へと繋げていきます。

希望溢れるまちの幸せな未来へと導いていくため、仲間とともに果敢にまちの問題へ挑んでいくことをお誓い申し上げます。二〇二六年度の理事長所信とさせていただきます。

謹賀新年





2026年度
創立60周年推進会議
議長

古藤 靖大

㈱RC・クリエイティブグループ
2019年入会

本年度、安来青年会議所は創立六十周年という節目を迎えます。一九六六年の創立以来、このまちをより良くするため課題に挑み続け多くの事業を積み重ねてまいりました。その歴史を築かれた先輩諸兄姉に最大の敬意を表し、紡がれてきた歩みに深く感謝申し上げます。この六十年は我々にとって単なる歴史の連続ではなく、挑戦の証として時代に刻まれた誇りであり、同時に忘れてはならない恩義です。

この歴史を振り返り未来への道筋を明確にすることが我々に課された責務です。その責務を果たすため、新たな出発点に立つ覚悟をもって先人からの恩を胸に刻み、仲間と共に築いた地域社会との結束をさらに強めることで、安来青年会議所が次代へ必要とされる組織であり続けます。

まずは、五十五周年で掲げた中期ビジョンを検証し、この五年間の運動を振り返ることが必要不可欠です。そこで得られた成果と課題を次代へ継承するため、次の五年を見据え新たな中期ビジョンを策定します。同時に過去の歩みを改めて学び直すことで、当時の挑戦に込められた想いに触れ、新たな発想や多角的な視点を育むことができます。さらに築き上げてきた諸団体との信頼関係を広げ、まちが更に発展する運動を推進し、輝かしい未来へ繋げる指針を掲げます。

周年の節目は新たな挑戦の始まりです。この一年間、仲間と共に挑戦を重ねて必ず次の世代に誇れる安来を創り上げます。未来を切り拓く覚悟を胸に、その誓いを行動で示してまいります。

創立六十周年推進会議

まちづくり委員会

これまで安来青年会議所が実施したまちづくり事業では、参加した地域住民に笑顔が溢れ、協力してくださった企業・行政とも継続的で良好な関係を築いてきました。我々は、こうしたまちづくりの歩みと地域との絆を受け継ぎ、自分たちの住む安来を自分たちの手でより良くしていくという意志のもと、地域の未来に向けた取り組みが必要だと考えます。

この考えのもと、我々はまちへ活気を創出することを目的とし、地域との繋がりをカタチにするまちづくりを推進します。その一環として地域住民・企業・行政等と連携し、まちの魅力を再発見できる機会を企画します。地域の価値を再認識することは住民の誇りや愛着を育み、まちへの関心を高めます。その結果として地域に対する主体的な関わりが促され、まちづくりの重要性への理解が広がります。さらに、世代や業種を超えた交流は、異なる価値観や経験が交わり互いの理解を深め地域内の人間関係を豊かにし、継続的な協力体制の構築につながります。そうして、多様な人々が関わることで、地域活動への参加が促進され、まち全体が賑わい活性化していくことを目指します。

まちづくりとは絆づくりであり、未来づくりです。未来をつくるには、地域がもつ価値を見つめ直し、住民一人ひとりがまちに誇りと愛着をもつことが重要です。「このまちで暮らしてよかった」と心から思える活気溢れる地域社会の実現に向けて、仲間とともに全力で取り組んでまいります。



2026年度
まちづくり
委員長

野白 康平

山陰酸素工業株式会社
2024年入会



2026年度
青少年育成委員会
委員長

佐瀬 悠真

宗教法人 松源寺
2023年入会

私が子どもの頃は、地域の大人達が行うまちの催しに参加し日常生活とは違う体験を通して、家や学校では得られない多くの学びを得ることができました。それは身体を動かし仲間と協力をして挑戦を重ねる中で、助け合いや絆の大切さ、そして社会との繋がりを感じたからです。しかし現代の子ども達は、地域との関わりが希薄になりつつあり、こうした体験の機会が減少しています。だからこそ今、大人達が挑戦の機会を創出し、次代へ恩を紡いでいくことが求められます。

そこで我々は、子ども達が日常では経験のできないことに挑戦する機会を提供します。新たな挑戦は不安も伴いますが、それを乗り越えることで成長や自信へと繋がります。大人の想像を超える学びを得ることが出来ます。こうした経験を通して、子ども達が自らの可能性を拡げることが、未来へ続く大切な一歩となります。また、子ども達にまちへの興味関心や愛着をもていただくため、地域の大人達を巻き込み身体を使って五感で感じる体験を通して、子どもの成長した姿を見た大人が新たな気づきを得ることで共に「まちへの愛着」を育むよう導きます。

これらを通じて我々は、子ども達が挑戦を重ねる中で「まちへの愛着」を育み、次代へ恩を紡いでいける事業を展開します。地域の大人達と共に、子ども達が日常では味わうことのできない体験に果敢に挑戦し、成長していきけるよう導いてまいりますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

青少年育成委員会

安来青年会議所に入会しませんか？

青年会議所での運動を通じて同じ喜びや苦勞を分かち合った仲間は、年齢・職業を超え生涯付き合える友人となります。ふるさとのために率先して運動したい！というあなた、是非入会をお待ちしております！



安来JCに入って感じたこと、変わったこと

安来青年会議所、入会4年目、板持慶宗君に自身がJCに入っ
て感じたことや変わったことを聞いてみました!!



板持 慶宗

有限会社 板持塗装店

JCに入会し今年で4年目を迎えます。入会当初の印象は忙しい団体でした。しかし、印象が活動を通じて「まちを本気で想う団体」に変わりました。事業計画や実行に携わりメンバーの実直な行動やまちづくりに対する姿勢に刺激を受け、自分自身も積極的に行動できるようになったと感じています。また、様々な分野の方々と新しい繋がりが得られます。この繋がりに「新たに友達ができた」「ビジネスに繋がった」など公私問わず良い影響があります。入会を検討されている方は是非「我々とともに」まちづくり運動を安来に展開していきましょう。

新入会員所感



小山 恭平

Lazowa green

Lazowa greenの小山恭平です。積極的に地域課題へ挑む姿勢に大きな刺激を受けました。前向きな行動力とチームの一体感が、安来の新たな可能性を生み出していると感じます。私自身も仕事を通じて、地域を元気にする一員でありたいと改めて思いました。



米原 伸

有限会社 米原組

2025年8月より正会員として入会いたしました、有限会社米原組の米原伸と申します。安来青年会議所や安来市が行っている自分たちの住んでいる安来市を自分たちでより良くしていく活動を通して自身の成長に繋げていきたいと思ひます。まだまだ勉強不足な所もありますが長い目で見守っていただけたらと思ひます。

抽選で賞品プレゼント!!

より良い、ふれあい新年号制作のために、アンケートにご協力をお願いします。
回答者の中から、
抽選で5名の方に
Cafe LOACH お食事券
500円分チケットプレゼント!!
※回答は1月5日まで



安来JC
ホームページ



安来JC
インスタグラム



発行所

一般社団法人 安来青年会議所
理事長 永島 太地
編集 青少年育成委員会
編集者 佐瀬悠真
〒692-0014 安来市飯島町1240-3
TEL 0854-22-3038

「ふれあい新年号」は下記の皆様のご協賛をいただき、発行いたしました。(順不同)

丸永建設株式会社
矢田醤油店
有限会社 松浦建設
グリーン産業株式会社
有限会社 板持塗装店
株式会社 RCクリエイティブグループ
山陰酸素工業株式会社
宗教法人 松源寺
株式会社 木下工務店
Esthetic private salon Syph Raum
Lazowa green
有限会社 米原組

二〇二六年度賛助会員紹介
有限会社 足立建設
景山総業有限公司
株式会社 はしまや
遠藤社会保険労務士事務所
ジェイエイやすぎライフサービス
有限会社 中田建設
雲樹寺
株式会社 IX Y's
整体院 Body Care SMILE
日野木工
トーアレンタル株式会社

二〇二六年度役員紹介
理事長 永島 太地
直前理事長 矢田 敦子
副理事長 内田 浩平
副理事長 板持 拓海
専務理事 足立 隼人
外部監事 古藤 靖大
創立六十周年推進会議 議長 古藤 靖大
まちづくり委員会 委員長 野白 康平
青少年育成委員会 委員長 佐瀬 悠真

.....(一社)安来青年会議所へのお問い合わせ・ご質問・ご要望は(一社)安来青年会議所事務局.....

〒692-0014 安来市飯島町1240-3 TEL0854-22-3038 FAX0854-22-3293 E-mail: yasugi-jc@galaxy.ocn.ne.jp http://yasugi-jc.com

対応時間:月曜日・水曜日・金曜日(10:00~16:00)

広報誌「ふれあい」についてのご感想・ご要望もお待ちしております。